

日本版自己決定力尺度開発と教育実践

－開発の進捗状況と教育現場へのインパクトに関する報告から－

企画者 山口明日香（高松大学）
司会者 山口明日香（高松大学）
話題提供者 土肥靖人（千葉県立特別支援学校 流山高等学園）
萩原真由美（米国サンフランシスコ州立大学）
前原和明（秋田大学）
指定討論者 八重田淳（筑波大学）

KEY WORDS: 自己決定力 (Self-determination) 日本版自己決定力尺度 自己理解支援

【企画趣旨】

米国では 1990 年代から Self-determination に関する研究が盛んになり、Shorgren et al(2015)は、Causal Agency 理論(CA 理論)を整理し、これを基にカンザス州立大学(2018)は、Self-determinationInventory(SDI)を開発し、根拠に基づく実践プログラム、Self-determined Learning Model of Instruction (SDLMI) との併用を行っている。

この SDLMI は生徒が自己決定力を高め、自分の決めた目標達成のためプロセスであり、教師用のガイドラインやファシリテーター育成を包括したプログラムとして実施されている。

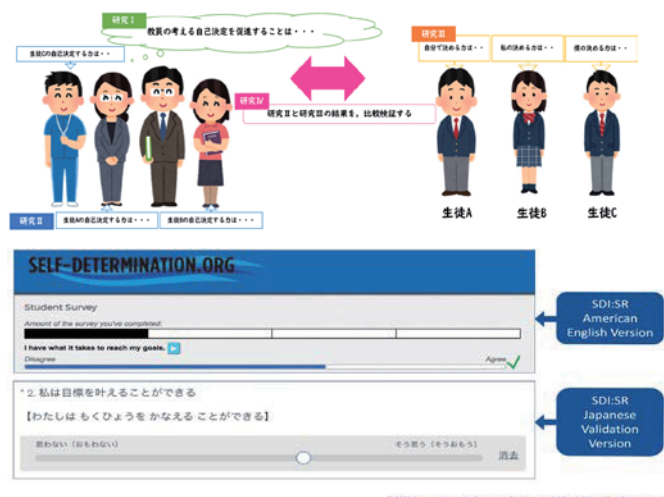
国内では、2019 年から萩原氏を代表として日本版自己決定力尺度に着手している。2019 年、2020 年の本学会においても進捗を報告してきた。本シンポジウムでは、日本版自己決定力尺度を実際に作成し、特別支援学校の生徒を対象に実施した結果や、その所感について話題提供すると共に、日本版自己決定力尺度の教員・支援者用ガイドライン作成について紹介する。なお本研究における研究倫理については、学校法人四国高松学園高松大学倫理審査委員会の承認を得て実施しており(承認番号：高大研倫審 2019001)、報告すべき利益相反はない。

【日本版自己決定力尺度開発に関する研究の概況】

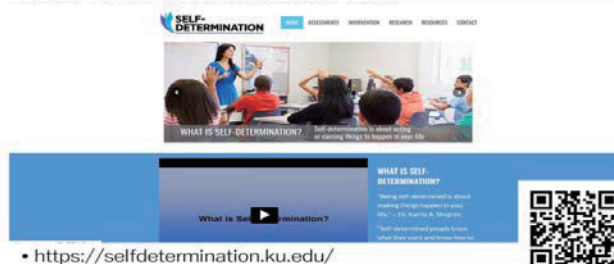
日本版自己決定力尺度は、4つの研究で構成されている。本シンポジウムでは、その内の「教員の自己決定促進に関する意識に関する調査」と「教員及び生徒の回答による自己決定力に関する調査」の結果を含め話題提供をいただく。

日本版自己決定力尺度開発に関する研究

- 研究Ⅰ：教員の自己決定促進に関する意識に関する調査【Ⅰ】
- 研究Ⅱ：教員回答の生徒・学生の自己決定力に関する調査【Ⅱ】
- 研究Ⅲ：生徒・学生回答による自身の自己決定力に関する調査【Ⅲ】
- 研究Ⅳ：教員評価と生徒自己評価による自己決定力の比較検証【Ⅳ】



米国のSelf-Determination のHP



【話題提供者の趣旨】

1. 日本版自己決定尺度の実施による生徒及び教員の実践とその効果

土肥氏には、X 特別支援学校で実施した「教員回答の生徒の自己決定力に関する調査」と「生徒回答による自身の自己決定力」に関する調査について、その実施した際の要件や所感について紹介いただく。またこれらの結果の一部についても報告いただく。自己決定力尺度が学校教育現場のキャリア教育においてどのように影響するのか、教員や生徒自身への影響やその期待される効果について話題提供いただく。

2. 最新の自己決定力尺度研究の動向と教員・支援者用日本版ガイドラインの作成

萩原氏には、米国における SDI の活用とその実践プログラム SDLMI の最新動向について紹介いただき、SDI の教員・支援者用日本版ガイドラインの作成について紹介いただく。また日本版自己決定力尺度を基にした、日本版 SDLMI を開発するにあたり必要な視座を提案いただく。

3. 日本版自己決定力尺度開発が教育から職業自立の接続課題に与えるインパクトとその期待される効果

前原氏には、国内の特別支援学校教員の自己決定の促進に関する意識について調査した結果から、その特徴について報告いただき、教育から職業自立の接続課題に自己決定力尺度が与える実践への影響や期待される効果について提案いただく。

【指定討論者の趣旨】

八重田氏には、国内と米国の自己決定力促進と自己理解支援を目的とする実践や研究から、今後取り組むべき研究課題や実践への反映課題について総括していただく。

(文献)

Shogren, Wehmeyer, Forber-Pratt, Little, & Lopez (2015) Causal agency theory: Reconceptualizing a functional model of self-determination. Education and Training in Autism and Developmental Disabilities, 50, 251-263.

(YAMAGUCHI Asuka, DOI Yasuhito, MAEBARA Kazuaki, HAGIWARA Mayumi, YAEDA Jun))